

2022 年度(令和 4 年度)

奨学生推薦要項

(指定校推薦)

公益財団法人 戸部真紀財団

日本と世界の将来を担う
志ある学生諸君の生活と希望を支える

《 対象分野 》

化学

食品科学

芸術学／デザイン学

体育学／スポーツ科学

経営学（ビジネス・公共全般・マーケティング等）



過去の採用者の専攻（参考）

《 化学 》《 食品科学 》

化学／応用化学／応用生物化学／応用物質化学／応用科学／応用理工学／生命科学／生命工学／応用生命科学／応用生命化学／応用生命工学／先端学際工学／先進理化学／生命機能・ファイバー工学／繊維学／有機材料システム／化学工学／理工学／基礎理工学／物質工学／物質創造工学／物質理学／数理物質科学／分子生命機能科学／高分子化学／化学システム工学／電気・電子情報工学／物性・分子工学／有機・高分子化学／高分子機能工学／薬科学／分子薬科学／総合薬品科学／創薬科学／創薬生命学／生命医薬化学／生物資源環境学／生物機能化学／資源生物学／応用生物化学／生物産業創成科学／生態発生適応科学／海洋環境学／森林科学／循環物質化学／環境物質科学／環境科学／環境人間学／環境都市／開放環境科学／環境情報学／人間情報科学／地域食物科学／農学／農芸化学／人間栄養科学／共生基盤学／医科栄養学／共同獣医学／保健福祉科学／食物栄養科学／食品生物科学／食マネジメント学／物質生命システム工学／ライフサイエンス／ナノサイエンス・ナノテクノロジー／バイオサイエンス／バイオ工学／技術科学イノベーション 等

《 芸術学／デザイン学 》

芸術文化学／美学・美術史学／文化歴史学／思想文化学／総合人文学／人文社会学／国際文化／学際情報学／情報連携学／共生人間学／共生文明学／比較文学／地域文化創造／地域創造学／文化表現論／美術学／建築学／考古学／都市工学／環境設計学／画像設計学／美術工芸／絵画／油絵／彫刻／アニメーション／デザイン学／環境デザイン学／デザイン経営工学／ファッションデザイン学／アートプロデュース／グローバルアートプラクティス／音楽学／作曲・指揮／器楽／鍵盤／管打学／弦楽／声楽／オペラ／映画／映像／メディア映像／メディアデザイン／舞台表現学／舞台芸術／言語社会／独文学／文化財保存学／超域文化科学／社会動態／都市政策学／都市環境学 等

《 体育学／スポーツ科学 》

体育学／スポーツ科学／スポーツ総合／スポーツ健康学／スポーツ科学健康／健康福祉学／障害科学／広域科学／臨床教育学／保健学／人間総合科学／システム制御／リハビリテーション療法学／スポーツ高度化共同／スポーツ国際開発学／教育システム／学校教育／こどもの健康福祉学 等

《 経営学 》

経営学／商学／経済経営学／国際経営学／国際政策学／公共経営学／総合政策学／地域・地球環境科学／資源開発環境学／農業・資源経済学／生物資源経済学／食料資源経済学／経営システム工学／ビジネスエコノミクス学／ファイナンス学／社会科学／法律経済学／学校教育高度化 等

<2022年度（令和4年度）奨学生推薦要項>

1. 趣旨

公益財団法人 戸部眞紀財団（以下、本財団）は、向学心に富み、学業優秀であり、且つ品行方正である日本国内の学部学生及び大学院学生に対して、奨学金を給付することにより、将来有為なる人材を育成することを目的とします。

2. 対象分野

- ・化学
- ・食品科学
- ・芸術学／デザイン学
- ・体育学／スポーツ科学
- ・経営学（ビジネス・公共経営、マーケティング等）

※ 上記分野に含まれる領域の範囲であればご推薦いただけますが、分野相違は不採用となる場合がありますので、不明な場合は事前にお問い合わせください。

3. 推薦人数 及び 期待する候補者

2名

- ・日本国籍、または同等の権利（永住者・日本人の配偶者・永住者の配偶者・定住者等）を有する者
- ・学資の支弁が困難であり、経済的支援を必要としている者
- ・個性豊かでユニークな発想を持ち、将来に期待の持てる人材
- ・目的意識、研究の課題が明確であり、奨学金を得ることで学業や研究により一層の深化、発展が期待される者
- ・向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者

- ・公募を含め、過去に本財団の奨学生であった者の推薦はご遠慮ください。
- ・推薦の2名は別の分野が望ましいですが、同分野の場合、同学科や同研究室はお避けください。

交流会に出席できる方をご優先いただけましたら幸いです。

2022年度 交流会日程 2022年8月28日（日）～8月29日（月）

※コロナ禍の状況によっては、日帰りでの開催、またはオンラインでの開催に変更する可能性がございます。

4. 応募資格

- (1) 日本の大学及び大学院で修学している者
- (2) 学部学生（3年生以上）、大学院学生（修士課程、博士課程）の者

※ 専門職学位課程は対象外とします。

- (3) 年齢が2022年4月1日現在で30才以下の者
- (4) 対象分野で修学している者

- ・博士課程を対象とした公的な支援制度（JSPS 特別研究員、JST 次世代研究者挑戦的プログラム等）の採用者は対象外といたします。（公募による応募は可能です）
- ・給付対象期間（2022年4月1日～2023年3月31日）を通して在籍していること。
- ・休学期間中は奨学金の給付を休止します。

- ・分野は在籍する学部・学科、研究科の名称に関わらず、対象分野のいずれかに関連する研究をしている方であれば、どなたでも応募できます。分野別の過去の採用実績については 1 ページ目をご参照ください。
- ・家計の収入による応募制限はしていませんが、選考過程で審査の対象になります。

5. 奨学金の額と給付の方法

(1) 給付金額

月額 5 万円（年額 60 万円）

但し、他の高額の給付型奨学金（民間の団体、地方自治体等）との併給の場合は半額となる場合があります。

- ・他機関の奨学金受給中、または受給予定でも応募できますが、併給不可の機関に申請中、または受給中の方はご応募をご遠慮ください。
- ・返済義務なしの場合でも、大学独自の奨学金、日本学生支援機構が行う給付型奨学金、及び学費の免除等は併給に該当しません。

(2) 給付の条件

本財団の奨学金は返済の義務はありません。

奨学生の卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とします。

(3) 給付の期間

2022 年 4 月 1 日より 2023 年 3 月 31 日までの 1 年間

（給付期間終了後、当該年度実績等を審査し、1 年間を限度に継続を認める場合があります。）

(4) 給付の方法

奨学金は原則として、本年 4 月から 4 ヶ月分を 7 月に、以降は翌年 2 月まで、偶数月の一定日に 2 ヶ月分を直接本人に給付します。

（本人名義の預貯金口座に入金します。）

6. 奨学金の休止、停止、または廃止

本財団が適当でないと判断した場合は、給付の休止、停止、または廃止を行います。

7. 応募方法と手続き

(1) 提出書類

- ① 奨学生願書（本財団指定用紙）
- ② 推薦状（本財団指定用紙。学長、学部長、研究科長等の推薦）
 - ・右上欄に学長または学部長・研究科長等の記名及び職印押印のこと
 - ・下欄に指導教員が署名捺印（または記名押印）のこと

※ 右上欄（職印）と下欄（指導教員の印）の両方に押印のこと
- ③ 在学証明書（原本）
- ④ 成績証明書（原本。累積 GPA の記載があるもの。大学院生は学部時代を含め前年度までの全成績証明書）
 - ・成績証明書に GPA の記載がない場合は GPA 証明書等（大学で発行が可能なもの）を併せて提出のこと。

⑤ 住民票（原本。マイナンバーが記載されていないもの）

⑥ 写真 1 枚

- ・横 3.5cm×縦 4.5cm、上半身正面脱帽、提出日より 3 ヶ月以内に撮影したもの。
裏面に氏名を書き、願書に貼付のこと。写真データの印刷でも可。

◆ 注意事項

【願書及び推薦状のダウンロード方法について】

- ・申請者は、本財団ホームページで基本情報（氏名、所属、メールアドレス、住所、電話番号等）を登録してください。

（登録先アドレス）<http://www.tobe-maki.or.jp/scholarship/> よりアクセスしてください

- ・基本情報に登録するアドレスは、願書に記載いただくとともに、採否連絡にも利用します。
- ・登録後、本財団より申請者のメールアドレス宛に、願書ダウンロード先アドレスを連絡しますので、当該ページより願書をダウンロードしてください。

【願書等の記載内容について】

- ・願書及び推薦状は、必ず記載例を確認し、誤りのないように記載してください。
- ・願書には 2022 年度の学年を記入してください。
- ・ワードファイルに直接入力したもの（フォントを 11 ポイントとする）を印刷しても、願書を印刷したものに手書きしても、どちらでも可とします。ページ数の増減や様式の変更は認めません。1～2 ページ目については小さいフォントの使用、及びページ数が増えない範囲で行の追加も可とします。
- ・図表の挿入は自由です。
- ・作成書類は A4 用紙を使用し、添付書類も含め、全て片面印刷としてください。（ホッチキス禁止）

【添付書類等について】

- ・在学証明書は 2022 年 4 月 1 日以降に取得した新学年の証明書を提出してください。
- ・成績証明書は、学部学生は入学からの累計のもの、大学院学生は学部時代を含め前年度までの全成績証明書を提出してください。なお、編入者は編入前（高等専門学校や短期大学も含みます）の成績証明書も併せて提出してください。
- ・住民票は、本人のみの記載で、本籍を省略したもので結構です。
- ・学会発表及び論文投稿について、別紙にて一覧の添付を可とします。（記載例参照）
- ・芸術分野の方は参考資料の添付を可とします。（但し、A4 用紙 3 枚以内）

【その他】

- ・上記のルールが守られていない願書（記載例に従っていないもの）、及び書類不備（記入もれ、押印又は直筆サインもれ、書類不足等）は審査対象外といたします。
- ・応募書類は返却いたしませんので、必要な方はコピーをお取りください。
- ・メールアドレス等の連絡先は、財団ホームページに登録した基本情報と同じものを記載してください。
- ・採用決定後に前年（1～12 月）の世帯収入がわかる所得証明書を提出していただきます。願書 2 ページ目「年収」欄の金額と、所得証明書の金額との差異が大きい場合は、失格となる場合があります。

(2) 提出期限

2022年5月11日(水曜日)

※ 期限までにご提出が難しい場合は、ご提出可能日をご連絡ください。

(3) 提出方法

貴大学にてお取りまとめの上、ご郵送ください。

(4) 提出先(連絡先)

〒540-0021 大阪市中央区大手通三丁目2番21号
公益財団法人 戸部真紀財団 事務局

8. 奨学生の決定

(1) 採否結果のご連絡

奨学生の決定は、本財団の選考委員会の選考を経て理事長が行い、ご推薦書類の受領1ヶ月後を目途にその結果を貴大学に通知いたします。

(2) 選考の結果及び決定の理由は公表いたしません。

9. 奨学生の義務

(1) 奨学生は、学期毎に成績証明書を、また2023年3月末までに活動報告書及び在学証明書(または卒業証明書/修了証明書)を理事長宛に提出しなければなりません。

(2) 奨学生は隔月で奨学金振込日の翌月10日までに奨学金受領書/近況報告書を提出しなければなりません。期限までに当該書類の提出がない場合、奨学金の給付を停止又は廃止する場合がありますのでご注意ください。

(3) 奨学生は本財団が行う交流会に出席しなければなりません。

(2022年度交流会開催予定日) 8月28日(日)～29日(月)の1泊2日

※コロナ禍の状況によっては、日帰りでの開催、またはオンラインでの開催に変更する可能性があります。

◆ 過去の交流会の様子は下記ホームページからご覧いただけます。

<https://tobe-maki.or.jp/disclosure/>

10. 個人情報の取扱いについて

奨学金の応募書類に記載された個人情報は、本制度のために利用され、その他の目的には利用されません。

以上

公益財団法人 戸部眞紀財団について



出捐者 戸部 眞紀 作

【出捐者・戸部眞紀プロフィール 及び 財団設立の経緯】

戸部眞紀は、1939年（昭和14年）9月18日、大塚グループ（現・大塚ホールディングス株式会社）二代目、大塚正士氏の長女として徳島県鳴門市で生まれ、早稲田大学（当時の第一商学部）を卒業後、大塚化学株式会社に入社しました。芸術への造詣も深く、自身でも趣味として絵画、作詞、作曲などの創作活動を行い、「とべ たみ」のペンネームで数十点の作品を遺しました。

2013年（平成25年）10月27日、享年74歳で逝去しましたが、生前「近年わが国は少子高齢化が進み、経済の停滞化、アジア諸国の台頭による経済環境の変化が進んでいますが、若い有能な人材の育成はまだ十分なものではないと思います。このような状況に鑑み、大学、大学院で学ぶ有能な学生、留学生に対し、奨学助成することは有意義であるものと考えます。」と語り、遺言にて大塚ホールディングス(株)の株式を当財団設立に拠出しました。

【事業の目的】

当財団は、教育・研究機関の国際交流の促進、異文化間の国際交流の促進に関する助成、基礎教育及び文化芸術・科学教育をはじめとする教育諸活動への助成、支援及び奨学援護等を行い、もって、わが国の文化芸術及び科学技術の振興、さらには人材育成の促進に寄与することを目的とします。

【事業の内容】

1. 国内の大学及び大学院の国内学生に対する奨学金の支給
2. 外国からわが国の大学及び大学院に留学する学生に対する奨学金の支給
3. 日本国籍の大学、大学院の学生及び大学、大学院とそれに準じた研究機関の研究者に対する海外留学に対しての助成金の支給
4. 奨学金の受給者に対する生活指導及び助言
5. 教育研究活動に対する助成
6. その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

【財団の沿革】

- ・2013年12月6日 戸部眞紀の遺言により、一般財団法人 戸部眞紀財団として設立
- ・2014年4月1日 事業開始（奨学生、及び研究助成金 一期生の募集開始）
- ・2014年6月13日 新公益法人制度に基づく公益認定を受け、公益財団法人 戸部眞紀財団に改称

役員・評議員

役名	氏名	現職
評議員	戸部 克信	大塚化学株式会社 執行役員
	藤関 勝宏	元 大塚食品株式会社 監査役
	木村 俊作	京都大学 産官学連携本部 副本部長 京都大学 オープンイノベーション機構 副機構長
	北村 卓三	エクセルコンサルティング株式会社 代表取締役
	長岡 奨	株式会社阿波銀行 取締役頭取
	白井 操	料理研究家
	奥村 太久実	むさしの税理士法人 代表社員・税理士
理事長	戸部 貞信	大塚ホールディングス株式会社 取締役 大塚食品株式会社 取締役
常務理事	戸部 渉	公益財団法人 戸部真紀財団 事務局長
理事	武藤 芳照	東京健康リハビリテーション総合研究所 所長 東京大学 名誉教授
	野村 正朗	学校法人 帝塚山学院 理事長
	大高 保二郎	早稲田大学 名誉教授
	小林 四郎	京都大学 名誉教授
	石見 利勝	元 立命館大学 教授
監事	中島 馨	中島法律事務所 所長
	竹内 定夫	ふじ総合法律会計事務所 公認会計士・税理士

公益財団法人 戸部真紀財団

TOBE MAKI SCHOLARSHIP FOUNDATION

〒540-0021 大阪府中央区大手通三丁目2番21号

TEL : 06-6945-7239

FAX : 06-6943-8215

HP : <http://www.tobe-maki.or.jp/>

Mail Address : Tobe-Zaidan@otsuka.jp